

③ 文化の振興

埋蔵文化財の保護について

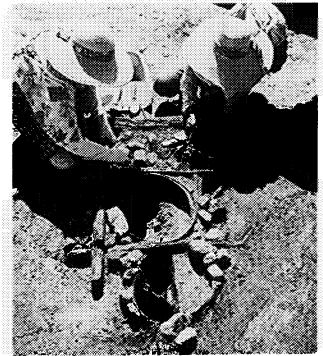
土地に埋蔵されている文化財である埋蔵文化財は、本県の歴史や文化を理解する上で欠くことのできない多くの情報を提供する貴重な歴史的遺産であり、将来の文化の向上発展の基礎となるものです。

現在、本県には一三、四九九箇所
の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）があり
その保存と活用に努めているところ
ですが、工事などでやむを得ず消滅
する場合は、事前に発掘調査を実施
して詳細な記録を作成し、報告書と
して刊行しています。

本年度も県内五地区で発掘調査
（調査担当（財）福島県文化センター）
を実施し多くの学問的成果を得てい
ます。



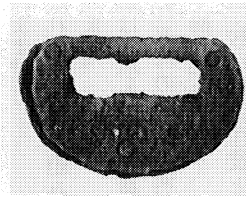
「玉造」の文字のある土器
（大猿田遺跡）



水場（大猿田遺跡）

いわき市四倉町の大猿田遺跡から
は、奈良〜平安時代の竪穴住居、倉
庫、須恵器窯、鍛冶遺構、水場遺構
などが発見されました。特に『和名
抄』に記された古代磐城郡玉造郷の
実在を示す「玉造」の文字が書かれ
た土器、役人の腰帯に着け、その位
を示す鍔帯金具、重い岩石などを運
搬する修羅という木製のソリ、郡の
役所が労役のため十六人の男子を招
集した命令書である木簡など、古代
のいわき地域の歴史を解明する貴重
な資料を提供しました。

福島市飯坂町茂庭の獅子内遺跡で
は、縄文時代の集落が発見され、摺



鍔帯金具（大猿田遺跡）

上川上流域の生活や文化の様子が解
明されつつあります。特に石器の原
材料が、険しい山々を越えて山形県
側から福島県側に搬入されたことが
分かり、当時の人々の交流圏の広さ
を物語る良好な資料となりました。



縄文土器（獅子内遺跡）

鹿島町川子の大迫遺跡からは、平
安時代の製鉄炉や鍛冶炉、その工人
の住居が発見され、鉄の製作から加
工まで行っていた製鉄遺跡の様子が
明らかになりました。特に台所を示
す「厨」と書かれた土器は、ここを
当時の役人が随時訪問していたこと
を示すものと考えられます。

このような調査の成果を多くの県
民の皆様にお知らせするために、発
掘調査現地説明会を各遺跡で開催し
ており、今年も多くの皆様にご見学
いただきました。

また、八月一〜三日には、埋蔵文
化財保護についての理解と関心を深
め、調査技術の向上を図るために市



発掘技術者講習会のような（会津若松市 東高久遺跡）

町村教育委員会及び学校の教職員等
を対象として、埋蔵文化財発掘技術
者講習会を開催したところ、三九名
の方々の受講がありました。
さらに、埋蔵文化財など文化財の
調査・管理・活用・研修などの観点と
なる文化財センター（仮称）整備の
準備作業も進めているところで、先
このような事業などを通して、先
人の文化的遺産である貴重な埋蔵文
化財を保護・活用し、良好な状態で
後世に伝えるために努めていきたく
と思います。